

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	切除不能進行再発神経内分泌癌の予後因子の検討
	研究対象者	2001 年～2024 年に神経内分泌癌と診断された患者さんのうち、神奈川県立がんセンターで AMR 療法を受けられた方
	研究目的	神経内分泌癌は比較的稀であり、標準治療が確立しておらず、予後不良な悪性疾患です。近年消化器原発症例に対しては本邦で一次治療の臨床試験が実施・報告され、標準的な治療方針が定まったこと、再発難治例に対し遺伝子パネル検査が実施可能になったことなど、実臨床における治療方針の変化はありますが、実際に治療経過・予後にどのような変化がみられ、二次治療として用いられる AMR 療法の位置づけについても十分明らかになっていません。今回当科で 2001 年～2024 年に診断し、化学療法を施行した切除不能神経内分泌癌症例の治療成績を後方視的に解析し予後因子を明らかにすることを目的としています。
	研究方法	上記対象の患者さんの背景、治療内容、治療経過、予後にかかわるデータを電子カルテおよびデータベースより抽出し、解析します。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 1 8 年 1 月 2 5 日 ～ 西 暦 2 0 2 7 年 1 2 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[] 生年月日、[X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[X] ゲノムデータ、[]看護記録、[]その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 血液・腫瘍内科 高橋 寛行
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科 高橋 寛行 045-520-2222 利用停止のお申し出は 2025 年 12 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります